

適用規格					
定 格	使用温度範囲	-35℃～ +85℃ (注1)	保存温度範囲	-10℃～ +60℃ (注3)	
	使用湿度範囲	20% ～ 80% (注2)	保存湿度範囲	40%～ 70% (注3)	
	電 圧	AC/DC 150V		適合電線	AWG#26～30
	電 流	AWG 26 : 2.5A AWG 28 : 2.0A AWG 30 : 1.0A			

### 性 能

	項 目	試 験 方 法	規 格	QT	AT
構 造	外觀, 構造, 仕上げ	目視, 寸法測定器にて測定する。	図面と合致していること。	○	○
	表示	目視にて確認する。		○	○
電 氣 的 性 能	接触抵抗	20 mV以下, 1 mA (DC又は 1000 Hz) で測定する。	30mΩ以下	○	—
機 械 的 性 能	単体挿抜力	□0.35±0.002mm の鋼製ピンで測定する。	差込力 3.0 N以下 引抜き力 0.3 N以上	○	—
	繰り返し動作	50回の抜き差しを行う。	①接触抵抗: 30mΩ以下 ②破損、ひび、部品のゆるみがないこと。	○	—
	耐振性	周波数 10～55 Hz、片振幅 0.75 mmで 3 方向 各 2 時間試験する。	①1μs以上の電氣的瞬断がないこと。 ②破損、ひび、部品のゆるみがないこと。	○	—
	耐衝撃性	加速度 490 m/s <sup>2</sup> 、持続時間 11 ms、 正弦半波 3 方向 各 3 回試験する。	①1μs以上の電氣的瞬断がないこと。 ②破損、ひび、部品のゆるみがないこと。	○	—
環 境 的 性 能	定常状態の耐湿性	温度 40 ± 2℃、湿度 90～95 %中に 96 時間放置する。	①接触抵抗: 30mΩ以下 ②破損、ひび、部品のゆるみがないこと。	○	—
	温度サイクル	温度 -55 → +15～+35 → +85 → +15～+35℃ 時間 30 → 10～15 → 30 → 10～15分 を 5 サイクル 試験する。	①接触抵抗: 30mΩ以下 ②破損、ひび、部品のゆるみがないこと。	○	—
	塩水噴霧	濃度 5 %の塩水、48 時間放置する。	① 接触抵抗: 60 mΩ以下。 ② はなはだしい腐食がないこと。	○	—
	二酸化硫黄	濃度 10 ppm、96 時間放置する。 (試験規格: JEIDA-39)	① 接触抵抗: 60 mΩ以下。 ② はなはだしい腐食がないこと。	○	—

**備考**

- (注1) 通電時の温度上昇を含みます。
- (注2) 結露のないこと。
- (注3) 基板搭載前の未使用品に対する長期保存状態に適用。  
 基板搭載後、輸送時の一時保管は使用温湿度範囲を適用。

	△の数	訂正記事	設計	検図	年月日
	2	DIS-H-00004936	HT. SATO	SZ. ONO	20190604
試験規格の記載のない試験方法はIEC 60512(対応規格JIS C 5402)を適用している。			承認	TS. SAKATA	20090915
			検図	TS. FUKUSHIMA	20090914
			担当	KT. ISHII	20090911
			製図	YK. NAKATSU	20090908
注 QT: 確認試験 AT: 製品検査 ○: 適用項目			図番	SLC-071220-04-02	
	製品規格表		製品名	DF13-2630SCFA (04)	
	ヒロセ電機株式会社		製品コード	CL536-0298-5-04	1/1